第２学年Ｂ組　英語科学習指導案

日　時：１０月２９日（木）
　　１３：００～１３：５０
場　所：２年Ｂ組教室
授業者：江黒　玲音

（１）単元名　Unit5　What design is good for everyone?　Part 2

（２）ねらい

ユニバーサルデザインの製品について伝え合う活動を通して、「誰にとってどんな風に役に立つのか」を伝えることがユニバーサルデザインの特徴を伝える上で必要であることに気付き、Thanks to ~.や easily などの副詞を使ってその理由を加えながらユニバーサルデザインの製品について伝えることができる。

（３）本時における英語科で目指す生徒の姿

・ALT が母親に日本のユニバーサルデザインについて伝えられるようにするために、良さを伝える時にはどのような表現が適切かを考え、既習表現を活用して伝えようとする姿
・本時で扱う「easily」や「Thanks to ~.」を活用する良さに気付き、自分の言葉で伝えようとする姿

（４）展開（第５時／全１０時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入	**〇Small Talk**　What is this? (a glass with a universal design) S: This is a glass. It has a special shape. It's easy to hold it. **〇Today's Goal** ALT: My mother came to Japan last month. She went to Luvit Town. Then, she found some interesting things, but she didn't know about them because she couldn't see them in Ireland. I want to tell her the good points of them, but I don't know how to use them, either. **What are good points of these universal design products?**	**【研究内容１-②】** ・「ALT が日本を訪れ、日本にしかない製品を見つけて興味をもっている母に、ユニバーサルデザインの製品について説明したい」という場面を設定し、「ALT にユニバーサルデザインの製品の特徴を伝える」という相手意識と目的意識をもたせる。
見通しをもつ	Let's introduce how to use universal design products! **〇Grammar** ・Key Sentence の確認をする。 **〇Activity** ・これまで Small Talk で紹介してきた製品と初めて見る製品の計８つの中から１つ選び、その製品について自分なりに説明する。 ALT: These products have special shapes, but I will not buy these products. Who buys these products? ・「誰にとって使いやすいのか」の視点を加えることで、ALT がその製品の良さに納得して母親にどんな製品なのか説明できるようにする。 ・ペアやグループ交流の中で、様々な人の英語での伝え方を確認する。	**【研究内容１-③】** ・単元末活動につなげるため、Improving Time を設定することで、伝える内容をさらに深める。本時では、教科書本文に立ち返り、生かせそうな表現はないか考える時間を作る。 ・生徒自身が表現の確認や練習の方法を選択できるようにすることで、自分に合った方法でさらに深められるようにする。
課題を解決する	I can show you how to use this product. ・This is a pen. It is easy to hold it. Elderly people can use it. ・This is a cutter. Small children can cut the paper easily. **〇Improving Time** ・ "It is easy to cut the paper. Small children can use it." と "Small children can cut the paper easily." の２つの伝え方を比較し、副詞を使うことで「誰が」「どのように」使うことができるのか、より強調できることや、１文にまとめられることに気付く。 ・ 「easily」以外にも製品によっては「safely」や「quickly」を使って伝えることができることを確認する。 ・ 副詞の定着を図る練習問題に取り組む。 ・本文を読み直し、イベントスタッフはさらにどんな表現をつかっていたか交流し、「Thanks to ~.」を使うとなぜ役に立つのか理由を伝えられることに気付く。 ・グループの仲間や ALT と表現の仕方の確認や練習をする。	**【研究内容２-②】** ・単元を通してつながりをもって出口に向かえるようにするために、Unit Sheet を活用し「本時できるようになったこと」と「単元末活動につなげられそうな表現」を振り返りで書く。また、学び方の振り返りを毎時間数値で自己評価する。
自己の学びを振り返る	**〇Performance Time** I can show you how to use this product. This is a cutter with a universal design. **Thanks to the shape, small children can cut the paper safely.** **〇Evaluation** ・話した内容を書きまとめる。 ・Unit Sheet にできるようになったことをまとめる。	**【評価規準】** **知識・技能** **［話すこと［発表］(イ)］** Thanks to ~.や easily などの副詞を使って、ユニバーサルデザインの製品の特徴を説明している。 **【評価方法】** 発言・ワークシート記述